



こんにちは！ぐんま酪農指導部です。これから「ぐんま酪農便り」として酪農家のみなさんに情報提供してまいります。よろしくお願いいたします。

さて、2025年の夏もラニーニャ現象の影響で猛暑が予想されています。酪農家のみなさんも十分水分をとり、熱中症対策を万全にして仕事に取り組んでいただければ幸いです。

第1回目は、暑熱対策をテーマにご紹介させていただきます。

暑熱対策について

◎牛舎の暑熱対策には、いくつかポイントがあります。

Point1 温湿度指数(THI)を牛舎内に設置して、暑熱ストレスを計測してみましょう。

THIとは乳牛が感じる暑さを数値化したもので、不快指数とも言われています。THIが68-72になると乳量が下がり、73以上では繁殖や乳質に影響がでることが知られています。

Point2 牛舎内の換気と送風を心がけましょう。

風を牛の体に当てることで、体感温度が下がります。風速 2m/秒で体感温度が約 8℃低下すると言われています。また送風機は十分な数を確保し、羽についたほこりやクモの巣は取り除き、十分な風速を確保してください。送風機に「つば」をつけることで風速も 30-40%上がります。

Point3 放射熱の減少を心がけましょう。

反射資材や断熱材の設置、散水により、屋根からの熱を防ぐことで牛舎内の温度上昇を防げます。また、牛舎周囲の日照方向や日陰を考慮して遮光ネットを設置することで牛舎に入ってくる風の温度を下げることができます。

細霧散布は牛や牛舎の冷却効果は高まりますが、その一方で湿度を上げてしまうので、換気や間欠運転を行うように心がけてください。

Point4 飲水量と乾物摂取量の確保しましょう。

搾乳牛は1日に10-15回に分けて100-150Lの水を飲みます。水槽やウォーターカップの定期的な洗浄は飲水量を高めると、乾物摂取量も向上してきます。気温が上昇するとサイレージの変敗が起きやすいので、日が当たらない場所での保管を心がけ、変敗を防ぐ添加剤などを使用してみましょう。

【最新暑熱対策】

最近スリック遺伝子という暑熱耐性遺伝子で牛の被毛を薄くさせることで、優れた体温調節機能を持たせる改良も進んでいます。

管内の暑熱対策事例



前橋市 S 牧場 温湿度を目視できるように牛舎に設置してあります。



前橋市 K 牧場 大型送風機は1台でも広い面積に風を送れます。



風でタオルがなびく

高崎市 T 牧場 トンネル換気で牛舎の換気がしっかりできています。タオルがなびく程に。ハエも少ないです。



高崎市 S 牧場
遮光カーテンは開閉がこまめに
出来る事がメリットです。



前橋市 S 牧場 シャワー室で牛が涼しげで、寝床が汚れないのもいいです。

最後まで読んでいただきありがとうございました。これからも様々な情報を発信していこうと思いますので、ご意見やご感想をいただけると嬉しいです。

内容にご興味があれば、下記に問合せ下さい。

ぐんま酪農業協同組合 指導部

住所:前橋市二之宮 1448

Tel;027-266-7733

Mail;yoshida.r@gunraku-portal.or.jp